

日本海における ホタテガイ天然採苗試験

三戸 芳典・青山 宝蔵(水産課)・田中 裕憲(鱒ヶ沢地方水産業改良普及所)

はじめに

日本海におけるホタテガイ天然採苗の可能性を検討する。本試験は津軽海域総合開発調査事業の一環として実施している。

試験方法

試験場所：第 1 図に示した鱒ヶ沢沖水深 30 m の地点。

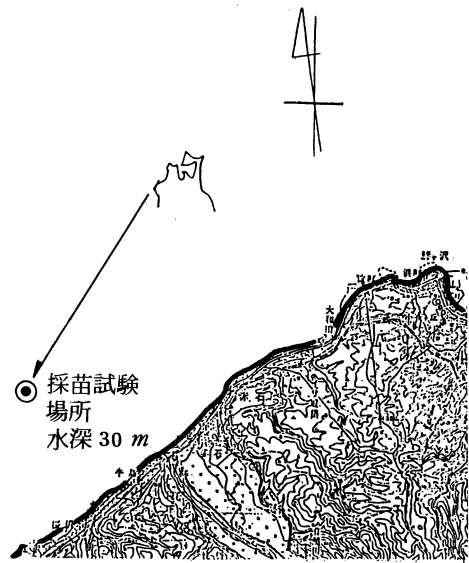
試験期間：昭和 55 年 5 月から 9 月。

試験施設：第 2 図に示した。

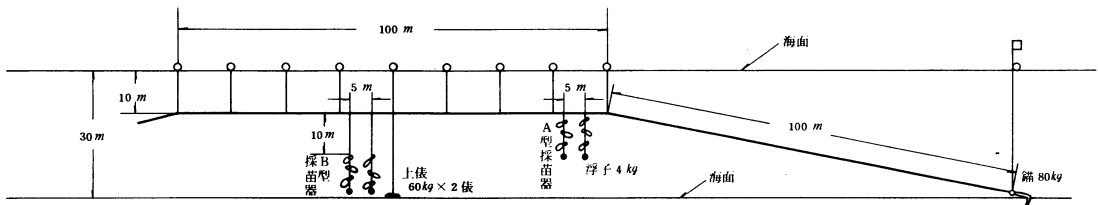
昭和 55 年 5 月 1 日と同年 5 月 30 日に A 型採苗器 5 連と B 型採苗器 5 連を各々設置した。採苗器内の付着基質にはネトロンネットを使用し、1 連に 10 袋取付けた。

試験結果

「北海道日本海側で採苗が行われている」、「鱒ヶ沢沖で少数ながらホタテガイが採捕された事がある」、「佐渡沖にホタテガイが生息している」ことなどから本試験を実施したが、9 月 26 日に回収した採苗器にはホタテガイ稚貝の付着はみられなかった。イタヤガイ稚貝は少数付着していた。



第 1 図 試験場所



第 2 図 試験施設